

審 議 結 果

次の審議会等を下記のとおり開催した。

審議会等名称	令和7年度第2回神奈川県感染症対策協議会		
開催日時	令和8年2月26日(木曜日) 19時00分～20時30分		
開催場所	神奈川県庁新庁舎5階5B会議室 (横浜市中区日本大通1)		
出席者	<p>[委員等] ◎は会長、○は副会長 <委員> ◎森雅亮、○小倉高志、川口浩人、小松幹一郎、吉村幸浩、山本哲、岩澤聡子、嶋田充郎、山崎元靖、赤松智子、林露子(吉川アズサ)※、三森倫、土田賢一、阿南弥生子、大久保一郎、守村妙子、谷河かおり、本馬恭子、和知治 <会長招集者> 長崎康俊、横田弘子、橋本真也、加藤馨、阿南英明、多屋馨子、西海昇、岡部信彦 [県] 山崎元靖(再掲)、由利直人、石野珠紀、横山崇、川田明美 ※()内に代理出席者を記載。</p>		
次回開催予定日	状況に応じて随時開催		
問合せ先	所属名、担当者名 健康医療局保健医療部健康危機・感染症対策課 感染症対策連携グループ 土谷、石川 電話番号 045-285-0715 ファックス番号 045-633-3770		
下欄に掲載するもの	議事録	議事概要とした理由	
審議経過	<p>開会 (事務局) それでは、定刻となりましたので、ただいまから令和7年度第2回神奈川県感染症対策協議会を開催いたします。 私は本日進行を務めます、神奈川県健康医療局保健医療部の感染症対策担当課長の由利と申します。どうぞよろしくお願ひいたします。 それでは、本協議会開催にあたりまして、山崎医務担当部長よりご挨拶を申し上げます。</p> <p>(山崎部長) 神奈川県健康医療局医務担当部長の山崎元靖と申します。 本日は大変お忙しい中、多くの皆様に協議会にご参加いただきまして、誠にありがとうございます。 今回は令和7年度の第2回目の協議会になります。 本日は、急性呼吸器感染症に係るご報告のほか、定例で行なっております、県内の感染症発生動向報告や、新型インフルエンザ等対策市町村行動計画に関する報告をいたします。 また、前回の協議会でご議論いただきました麻しんワクチン緊急接種事業のその後についてもご報告をいたします。 それでは委員の皆様、本日も活発なご議論をよろしくお願ひいたします。</p>		

(事務局)

山崎部長ありがとうございます。

では本日の議事進行等についてご説明いたします。本日の会議は、19時から概ね1時間半程度を予定しております。

続きまして、会議の公開非公開議事録の公開についてです。次第をご覧ください。

本日は、「1. 報告事項」として「急性呼吸器感染症（ARI）について」、「新型インフルエンザ等対策市町村行動計画への支援について」、「神奈川県感染症発生動向について」、「麻しんワクチン緊急接種事業について」の4項目と、「2. その他」となりますが、すべて公開いたします。

また、議事録の公開についても同様に取り扱いたいと思いますので、質疑応答をさせていただく際には、非公表事項についてはお答えを差し控えさせていただく場合があることをご了承ください。

あわせて、この会議は YouTube にて原則オンラインでも公開しておりますので、今回も公開することとしてご承知おきください。

続いて、本日ご出席の皆様のご紹介につきましては、名簿の配布をもって代えさせていただきます。

なお、事前に会長にお諮りして、オブザーバーとして、県歯科医師会、県看護協会、県薬剤師会、県高齢者福祉施設協議会、県立病院機構、県衛生研究所、県保健福祉事務所長会の皆様及び川崎市健康安全研究所参与岡部信彦様にご出席いただいております。

最後に、本日はWEBでの参加をお願いしておりますので、ご発言がある場合は挙手ボタンを押して事務局にご連絡ください。よろしくお願いいたします。

では、これから先の進行については、当協議会会長、東京科学大学大学院及び聖マリアンナ医科大学の森教授をお願いしたいと思います。森会長、よろしくお願いいたします。

(森会長)

皆様こんばんは。ただいまご紹介いただきました、東京科学大学及び聖マリアンナ医科大学の森でございます。改めてよろしくお願いいたします。

また、出席者の皆様には、円滑な議事進行にご協力のほどよろしくお願いいたします。

まず、会議の撮影・録音についてお諮りします。撮影・録音については、傍聴要領により会長が決定することとなっております。

会議がすべて公開ですので、撮影・録音は許可したいと思います。皆様よろしいでしょうか。よろしい方は挙手をお願いします。

(全委員 異議なし)

ありがとうございます。

会議は撮影・録音を許可いたします。

それでは早速議事に入りたいと思います。

報告事項

(森会長)

報告事項の一つ目、「急性呼吸器感染症（ARI）について」です。

資料1の説明について、事務局よろしくお願いいたします。

【横山グループリーダーが資料1に基づき説明】

(森会長)

ご説明ありがとうございました。今年度から導入されたARIサーベイランスと指針についてご説明いただきました。

ご説明いただいた内容について、ご意見・ご質問等ある方は挙手をお願いします。

また、今後、病原体サーベイランスを含めたARIサーベイランスを効果的に活用していく上でのポイントなどについてもご意見等のある方は挙手をお願いします。

よろしいでしょうか。それでは、次に進めさせていただきます。

続きまして、報告事項の二つ目、「新型インフルエンザ等対策市町村行動計画への支援について」です。資料2の説明について、事務局よろしくをお願いします。

【川田グループリーダーが資料2に基づき説明】

(森会長)

ご説明ありがとうございました。ご説明いただいた内容について、ご意見・ご質問等のある方は挙手をお願いします。

だいたい順調に進んでいるようですね。特にお困りの市町村はないでしょうか。

はい、それでは次に進めさせていただきます。

続きまして、報告事項の三つ目、「神奈川県感染症発生動向について」です。まず、資料3-1から3-4までの説明について、事務局よろしくをお願いいたします。

【石野課長、横山グループリーダーが資料3-1から3-4に基づき説明】

(森会長)

ご説明ありがとうございました。続きまして、資料3-5の説明について、県衛生研究所 多屋所長、よろしくをお願いいたします。

【多屋所長が資料3-5に基づき説明】

(森会長)

ご説明ありがとうございました。麻しんと重症熱性血小板減少症候群について、詳しくお話いただきました、どうもありがとうございました。

それでは、続きまして、資料3-6の説明について、事務局よろしくをお願いします。

【横山グループリーダーが資料3-6に基づき説明】

(森会長)

発表いただきました皆様、ご説明ありがとうございました。全数把握の

報告数、定点把握の推移、トピックとしてARI、麻しん風しん、SFTS、そして県における情報発信についてご報告いただきました。

ご説明いただいた内容について、ご意見・ご質問等のある方は、挙手をお願いします。

はい、それでは川口委員よろしく願いいたします。

(川口委員)

神奈川県医師会の川口と申します。ご報告ありがとうございます。

まとめていただいている週報ですが、毎週木曜日、必ず我々確認しております。日々の診療においても、医師会としての様々な対策においても、それから学校医として学級閉鎖の判断などを相談された時にも非常に役に立っています。

ただ、週一回の報告もとても有用なのですが、川崎市ではリアルタイムで感染症の数や学級閉鎖の数などをマップでも見ることができ、しかもネット上で誰でも見られるようになってきているという画期的な情報発信システムが使われています。

こういったものを県全体でやるとなると予算もマンパワーも精度管理も大変だと思いますが、出来れば今後ご検討していただければと思ってコメントさせていただきます。よろしく願いいたします。

(森会長)

ありがとうございます。川口委員から貴重な御意見いただきました。いかがでしょうか？

(由利課長)

はい、事務局からコメントさせていただきます。川崎市の岡部先生が中心になられて、コロナ禍に至る前から長年取り組まれているこちらの取組みについては非常に関心を持って勉強させていただいているところです。

リアルタイムでサーベイランスの情報を公開するというだけでなく、臨床との距離が近いということが非常に有効なのでは思っております。

神奈川県は今年度、麻しんのアウトブレイクや初の県内を推定感染地域とするSFTSの発生といった、広域的に注意を必要とするような状況が発生いたしました。こうした状況で、これまでも週報を活用いただいているということですが、そういった情報にご関心をいただいている先生以外にも、臨床医でなかなか忙しくてそういったものを見る時間が取れないような先生方がSFTSの臨床例を鑑別にあげなければいけないようなケースも今後出てくるかと思えます。

そういった時に、ファビピラビル等を事前に使えるような状況にしておくような動機付けになるですとか、そういった情報提供ができるような仕組みですとか、そういったことも含めて検討していきたいと思えます。

非常に建設的なご提案ありがとうございます。きちんと検討してまいりたいと思えます。以上です。

(森会長)

ありがとうございます。川口委員、貴重なご指摘をいただきましてありがとうございます。

続いて小倉副会長、どうぞよろしく願いいたします。

(小倉副会長)

ありがとうございます。

多屋所長の SFTS の報告はタイムリーで非常に感銘を受けました。当病院ではコロナの時にファビピラビルの治験をやっていたのですが、その時に SFTS の方も治験をやっているとのことで、非常に印象的でした。結局コロナでは駄目でしたけれども、SFTS では承認されたということで、今ご指摘があったように、SFTS はやはり疑わないとなかなか診断がつかない。それからウイルス量が少ない時に診断をつけること、ステロイドに関してはサイトカインストームが起きるといふことも言われていますけれども、効き目に関しては確立してないということだったので、まず早期診断が重要だといふことが言われております。

神奈川の去年の事例も、診断した施設の方に聞いたのですが、疑ったところから始まったということでした。以前は西日本の病気と考えましたけど、現在は東日本でも発生していますので、こういった情報を各施設で知っておいていただくことが重要かと思えます。多屋先生に動画か何か作っていただけて、誰でも見れるような形にさせていただくと皆さん役に立つのかなと思いました。

また、最近はペットを飼っている方も多いので、3月から猫の感染が増えるというお話も非常に印象的でした。

あともう一つは、今アメリカで麻しんが流行っているということです。アメリカではワクチン忌避というものがありますけれども、だんだん問題になってくるのかなと思っております。

このあたりワクチンの情報も含めて、日本でも緊急的にできるような形というのは重要なのかなと思いました。ありがとうございました。

(多屋所長)

ありがとうございました。3月から猫の感染が増え始めるという情報を見たときに、これは今、皆様にお知らせしなければいけないと思っていましたので、今回このような機会をこの2月の終わりに持たせていただいたことを本当にありがたく思っております。

麻しんもそうですが、何においても準備は大事だと思いますので、平時にできることをやっておけたらと思います。また何か情報がありましたら、発信をしていきたいと思っておりますので、どうぞよろしく願いいたします。

(森会長)

どうもありがとうございました。他にご質問・ご意見ある方いらっしゃいますか。岡部先生、どうぞよろしく願いいたします。

(岡部川崎市健康安全研究所参与)

ありがとうございます。川崎市健康安全研究所の岡部です。

リアルタイムサーベイランスの紹介をしていただき、川口委員ありがとうございました。我々としては非常にいい方法だと思っておりますので、またいろいろと意見交換をさせていただければと思います。

また、麻しんの発生については、今のところ我が国では幸いなことに大きく広がるという傾向はないのでそのあたりは現時点では安心していただけるんですけども、麻しんワクチンの接種率が次第に落ちてきているというのが大きな課題で、このままアメリカやヨーロッパのような状態になってはいけませんので、接種率を維持していくということは大変重要じゃないかと思っております。

そして風しんについては、ご報告いただいたように昨年9月にHWOから日本は排除国である、エミネーションを達成した国であるという大変ありがたい認証をいただきました。これは本当に、ここにおられる委員の先

生方や行政の皆様、あるいは一般の方も含めて、いろいろな方の協力のおかげだと思っております。

私、排除認定委員会の日本の委員長ですので、その立場から厚く御礼申し上げます。

風しんは多屋所長が中心になって取り組んでいただいているのですが、産婦人科領域でも取り組んでいただいたのは横浜市大の産婦人科の教授だった平原先生の力が大変強かったと思います。

平原先生は残念ながらご逝去されたんですけれども、改めて神奈川県内の力が強かったということを含めて、平原先生のごことも触れさせていただきたいと思いました。

また、先ほども申し上げましたように、接種率をこれから維持していかなければいけないということなのですが、私たちの調査ではコロナ後の接種率が少し落ちたのは、アメリカ等に見られるようなワクチンヘジタンシーというよりも、ワクチン不足の影響が強いということが言えます。そこはシステム面でサポートしていかなければいけないところだと思っておりますので、どうぞよろしく願いいたします。

(森会長)

岡部先生ありがとうございました。

では、神奈川県議会厚生常任委員会委員長の山本議員からもお話しただけたらと思います。よろしく願いいたします。

(山本委員)

ご指名ありがとうございます。お話をお伺いしまして、正直勉強になった部分もございました。考えていかなければいけないことがいろいろあると思いましたので、引き続きご意見をいただきながら様々な取組みを進めていきたいと思っております。どうぞよろしく願いいたします。

(森会長)

山本委員ありがとうございました。では続いてテレビ神奈川の嶋田委員、よろしく願いいたします。

(嶋田委員)

テレビ神奈川の嶋田でございます。我々は報道機関として、正しい情報を県民の皆様提供するという立場にありますので、このような専門的な知識を有する皆様からのご案内というのは非常に役に立つと思います。組織として共有させていただき、正しい情報を伝えていきたいと思っております。本日はどうもありがとうございました。

(森会長)

どうもありがとうございました。

それでは続きまして、報告事項の四つ目、「麻しんワクチン緊急接種事業について」です。資料4の説明について、事務局よろしく願いいたします。

【横山グループリーダーが資料4に基づき説明】

(森会長)

ご説明ありがとうございました。とても画期的な事業だと私も認識して

おりますけれども、ご説明いただいた内容について、ご意見・ご質問等のある方は挙手をお願いいたします。

この事業は令和8年度も継続するということですのでよろしいですね？

(由利課長)

はい。

(森会長)

わかりました。他には皆様よろしいでしょうか。

では、質疑応答・意見交換については以上とさせていただきます。

その他

(森会長)

これで、本日用意された議事は全て終了しましたが、「その他」としてご出席者の皆様から何かございますでしょうか。

はい、川口委員、よろしくをお願いいたします。

(川口委員)

いろいろお聞きしたいことがたくさんあったのですが、ちょっと時間がないので難しいかなと。できれば、せっかくいろいろな方が出席されていますので、報告をもう少しコンパクトにさせていただいて、協議や議論をもっとできたらと思います。

さて、一点お聞きしたいのですが、国際園芸博覧会について、開催まで400日を切りました。海外からの来訪者も増えると思います。輸入感染症なども考えますと、医師会としても地域の医療機関としても、これに対して何か対策というか、備えておくべきことはあるのかどうか。これに関してできれば行政の方やご専門の先生方から、医師会の方にご要望や情報の提供をいただけますといろいろ備えができますので、お願いしたいと思います。

また今後いろいろ皆様に教えていただければと思いますのでよろしくをお願いいたします。

(森会長)

ありがとうございます。時間が短く申し訳ありません。

今お話いただいたことにつきましては、直接川口委員にご連絡させていただくような形で対応させていただきますので、どうぞよろしくをお願いいたします。では岡部先生、どうぞ。

(岡部川崎市健康安全研究所参与)

花博について、私、公衆衛生あるいは感染症対策といったような感じで検討委員会の担当を命ぜられまして、医師会との関連や地域の病院との連携もやるべきであるという話も出ておりますので、任期期間もないのですがぜひよろしくをお願いいたします。議論として伝えておくようにします。この中には赤松委員もメンバーとして委員会に参加してらっしゃいますので、またどうぞよろしくをお願いいたします。

(川口委員)

よろしくをお願いいたします。

(森会長)

ありがとうございます。では続いて小倉副会長、どうぞ。

(小倉副会長)

岡部先生ありがとうございました。規模は違いますが大阪万博の際、海外の方もかなり来たと思うのですが、大阪市がどのような形で感染症に対応したのか、何か問題点はあったのかということについて情報があると対応時役に立つかと思ったのですがいかがでしょうか？

(岡部川崎市健康安全研究所参与)

大阪からの報告では、噴水からレジオネラが出たとか、そういったような報告はありましたが、幸いにも大事件に至るようなことはありませんでした。

ただ、花博の場合は、イベントのやり方が違うのと、会場に虫や鳥などがいるかと思えますので、そういった動物由来の感染症であるとか、人の行き来に関しても議論として出てきておりますので、大阪の状況も参考にしながら、私の方からもお伝えしたいと思えます。ありがとうございました。

(小倉副会長)

ありがとうございます。

(森会長)

ありがとうございます。花博の件については、継続してお話をしていくということになるかと思えますので、どうぞよろしく願いいたします。

他に「その他」としてご出席の者の皆様から何かございますでしょうか。

それでは本日の議題は以上となりますので進行を事務局に戻したいと思えます。よろしく願いいたします。

閉会

(事務局)

森会長、どうもありがとうございました。また、委員の皆様におかれましては、長時間にわたり活発なご議論をいただき、ありがとうございました。

それでは、これもちまして、令和7年度第2回神奈川県感染症対策協議会を閉会させていただきます。誠にありがとうございました。